

いずみさの教育



問合先
学校教育課

ネットいじめの現状と問題点と取り組むべきこと

3月6日(日)、第17回泉佐野市人権研究会が開催され、全体会に続く分科会「子どもの人権」では、笠原麻央弁護士による「ネットいじめの現状と問題点と取り組むべきこと」と題した講演がありました。

SNS (Facebook・Twitter・LINEなど)という新しいツールができましたが、進化や普及のスピードがあまりに速いため、法律が追いついていない状況だそうです。小学生では自分のスマートフォン利用が8〜25%と一見低いものの、家族のスマートフォン利用をあわせると48〜56%に上ったという調査結果を例に、多くの子どもが小学生時代からSNSと深く関わっていることを明らかにされました。

また、家庭でネットの使い方についてルールを決めているのは、高校生が11%、中学生が31%、小学生が49%だそうですが、小中学生でも家の外でフリーWi-Fiを使うなど、保護者の知らない所でネットを使用していることもあると指摘されました。子どもたちにとってSNSは大人が考えるよりも極めて身近なものとなっており、ネットいじめなどの問題行動は、多くの深刻な事態を引き起こしています。これらの予防・対処として、次の2つの提案が示されました。

1つめは、大人も子どもも知識・技術を習得しましょうということ。ネットの特性である、発信した情報は多くの人にすぐ広まり、一度公開された情報は完全に消すことができないことや、書き込んだ人を特定できることなどを理解した上で、ネットを利用するよう子ども達を見守ること、他人を誹謗中傷しないという基本的なモラルを身につけ、社会ルールも学習できるように、家庭や地域、学校で様々な機会を作り子ども達に伝えていくことです。

2つめは、大人と子ども、子どもと子どものアナログ的なコミュニケーションをしましょうということです。保護者や教師、友人などとコミュニケーションが良好な場合は、そうでない場合に比べ、ネット上の危険性を回避する行動を取っている者の割合が高くなっています。子どもとコミュニケーションを密に交わし、保護者や教師など周りの大人に気軽に相談できる関係をつくることで、子どもの日常生活や体調の変化、悩み事の有無などを察知できるということです。

今後ますます普及することが予想されるネットやSNSなどについて、大人も知識・技術を習得し、使い方について子どもたちとしっかり話し合いたいものです。

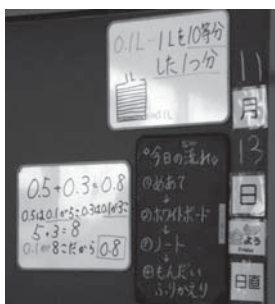


学校園紹介



ホワイトボードっていいやん 0.5+0.3=0.8 ～長坂小学校～

写真は3年生の算数の時間、小数の足し算です。小数の学習では小数が整数で表せない半端な大きさや量を表す数であることを理解した後に、その加法を学ぶ場面があります。



その中で例題、0.5+0.3を用いて、子どもたちは、各自1枚のホワイトボードを使って、なぜ、答えが0.8になるのかを考えて説明していきます。

これまで習ったことを駆使して、懸命に取り組めます。

ジュースの箱を描いている子ども、ことばで理由を書いている子ども…大切なことは、チャレンジすることです。課題を解決するために、自分で考え、隣の人などと交流し、より良い考え方や説明の仕方を工夫していきます。

ホワイトボードは、その名の通り白い板で、専用のマジック(水性)で書きます。失敗してもティッシュですぐに拭き取って消すことができます。また、相手にも見やすい大きさで、視覚的に共有しやすく、隣同士で交流したり、班で意見を出し合ったり、さらに、前の黒板に貼り付けることもでき、ホワイトボードを使って全体の場で説明することも可能です。ノートだとそうはいきません。書き直すには消しゴムで消さなければなりません、その場で意見交流するにはサイズが小さすぎます。

「簡単に書いて、共有しやすい」この利点を生かして子どもたちの考えや意見を引き出し、説明できる力をつけていきます。



佐野三 日本一をめざそう ～第三中学校～

本校では生活目標「場を美しく」「時を守り」「礼を正す」を推進するため、昨年から「あいさつ・そうじ・はきもの」を合い言葉に取り組みを進めています。

3学期の始業式で生徒たちや、教職員が参加し書き初めとして「あいさつ・そうじ・はきものができる生徒 願 佐野三 日本一をめざそう」と書き記しました。一文字一文字心をこめて書き、書き上がった作品に、生徒と教職員全員が拍手をおくりました。この願いが叶うように具体的に次のような3点で取り組んでいます。

●あいさつ…民生委員児童委員さんのご協力を得て、1・2学期の3ヵ月間毎週火曜日と金曜日に、また、生徒会や委員会の活動によって、生徒が校門に立ち、あいさつ運動を展開しています。



あいさつによって生徒と地域の人とのコミュニケーションが成され、気持ちのいい朝を迎えることができます。

●そうじ…「朝のさわやか清掃活動」は、毎週水曜日8時から15分間、学校内の美化活動をしています。生徒が自主的に参加するもので、参加者は朝からそうじをすることにより、心が磨かれ、さわやかな気持ちで1日を迎えることができます。この他にも、「夏ボラ」と、「こころみがきトイレ清掃体験会」を生徒会と地域の人々の協力で行っています。



●はきもの…本校のはきものを揃える実践の場は、体育館を利用する時やトイレのスリッパを利用する時です。生徒自ら揃えることの意義をアンケートによって考えさせ、共有しています。

三中は日本一をめざし、一步一步進んでいきます。